

特別展

源氏物語

千年の時をかざねて



夕言のいたり霞そくはもよほし
のこりいさぎのつらさをわかん
くしぬて惟光朝下とてつら
まのむくしの毛をしくし持佛を
たてまつりておのまふたうりて

いれぬぬめしあつた布つらあ

きりふら

きりふら



たつとめ

たつとめ

たつとめ

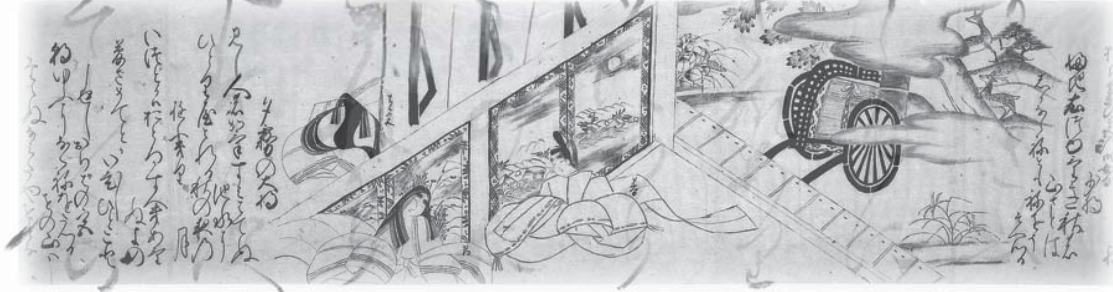
まののこりいさぎのつらさをわかん

くしぬて惟光朝下とてつら

まのむくしの毛をしくし持佛を

たてまつりておのまふたうりて

夕言のいたり霞そくはもよほし



夕言のいたり霞そくはもよほし
のこりいさぎのつらさをわかん
くしぬて惟光朝下とてつら
まのむくしの毛をしくし持佛を
たてまつりておのまふたうりて

夕言のいたり霞そくはもよほし
のこりいさぎのつらさをわかん
くしぬて惟光朝下とてつら
まのむくしの毛をしくし持佛を
たてまつりておのまふたうりて

日本文学の最高峰と称される源氏物語は、執筆当初から高い評価を得、今日に至るまで数多の読者を魅了してきました。そして、物語や和歌・連歌・俳諧、また謡曲や浄瑠璃などの題材として、更には美術・工芸の重要な主題としても日本文化に計り知れない影響を与えています。貴族や文人・学者ばかりでなく、武家や一般庶民に至るまでの教養書となった源氏物語は、様々な人々によって各時代に多くの書写本が生み出され、その注釈書も多様な視点から繰り返し作成され続けました。

天理図書館は、このような本文や注釈書類の書写伝本を数多く収蔵しています。源氏物語千年紀とされる今年、本館蔵書の中から逸品を展示いたしました。源氏物語の世界と共にこの物語を享受し続けてきた人々にも思いを馳せて頂ければ幸いです。

2008年4月12日
天理図書館

***** 主な出品資料 *****

【源氏物語 本文】

54巻54冊 伝津守国冬等筆 鎌倉末期・室町末期写
52巻49冊 伝二条為明等筆 鎌倉末期写

- 帚木巻 伝藤原為家筆 鎌倉中期写
 - 末摘花巻 伝冷泉為相筆 鎌倉中期写
 - 蓬生巻 伝藤原為家等筆 鎌倉中期写
 - 薄雲巻 嘉元四写
 - 薄雲・朝顔巻 伝二条為氏筆 鎌倉中期写
 - 乙女巻 伝二条院讚岐筆 鎌倉初期写
 - 野分巻 伝藤原定家筆 鎌倉中・末期写
 - 藤袴巻 伝慈鎮筆 鎌倉中期写
 - 槇柱巻 鎌倉末期写
 - 柏木巻 伝源頼政筆 鎌倉初期写
 - 鈴虫巻 伝藤原俊成筆 鎌倉初期写
 - 夕霧巻 伝冷泉為相筆 鎌倉末期写
 - 竹河巻 伝西行筆 鎌倉初期写
 - 宿木巻残簡 伝西行筆 鎌倉初期写
 - 東屋巻 伝二条為氏筆 鎌倉中期写
 - 若紫・末摘花巻 絵巻 鎌倉末期写
 - 絵合巻 奈良絵表紙 伝土佐光信筆 室町末期写
- 54巻54冊 古活字版 慶長期刊

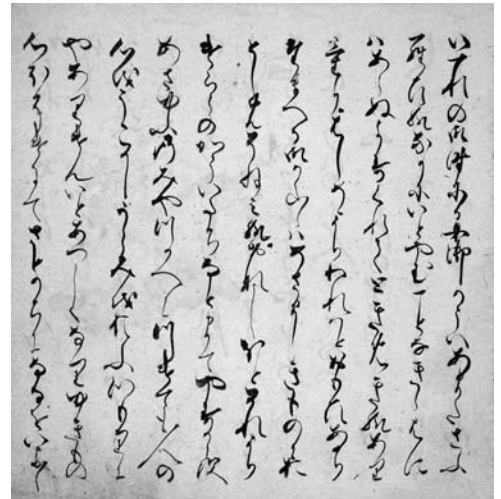
【源氏物語 注釈書類】

- 定家小本 藤原定家自筆
- 源氏古鏡 鎌倉末期写
- ◎ 源氏物語抄 高水本 永仁七写
- 幻中類林 了悟著 室町中期写
- 河海抄 四辻善成著 伝一条兼良筆 文明十三写
- 千鳥抄 平井相助著 室町中期写
- 山下水草稿 三条西実枝自筆
- 林逸抄 林宗二自筆
- 源氏物語打聞 北村季吟自筆
- 源注拾遺 契沖自筆
- 安波礼弁・紫文訳解 本居宣長自筆

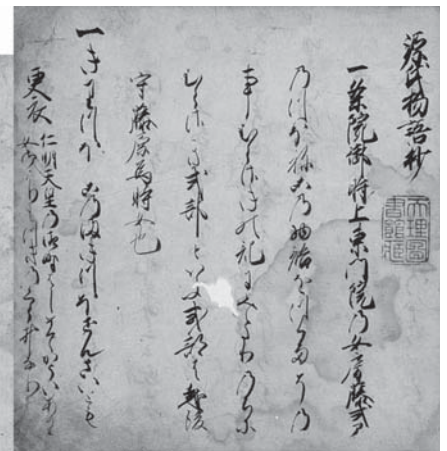
【源氏以降の物語】

- 狭衣 鎌倉末期・室町末期写
- ◎ あさが露 鎌倉末期写
- ◎ 大鏡 建久三写

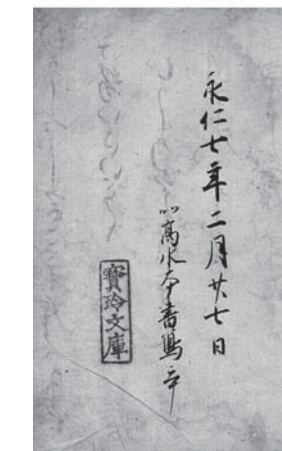
※ ◎: 重要文化財 ○: 重要美術品



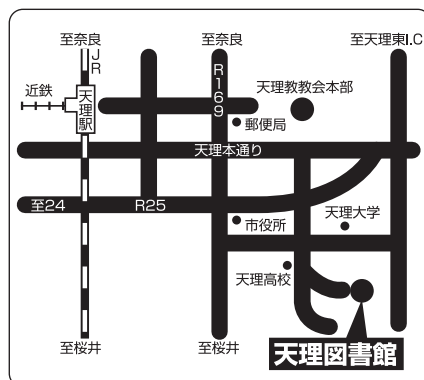
源氏物語 国冬本 桐壺巻



源氏物語抄 高水本



狭衣



4月12日(土) ~ 30日(水)

9:00 ~ 15:30

〒632-8577 天理市杉之内町1050
天理大学附属天理図書館

TEL: 0743-63-9200
http://www.tcl.gr.jp

☆ 入場無料 ☆